

製品名: KCTD21 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02187**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	KCTD21
別名	KCASH2
遺伝子 ID	283219
SwissProt ID	Q4G0X4
免疫原	ヒト KCTD21 の組み換えタンパク質

背景

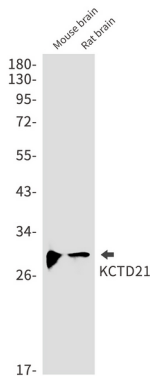
BCR (BTB-CUL3-RBX1) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質特異的アダプターと考えられ、標的タンパク質のユビキチ

ン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する。HDAC1 のユビキチン化を促進する。転写因子 GLI1 の核移行に影響を及ぼすことで、ヘッジホッグ経路のアンタゴニストとして機能する。この機能は、HDAC1 のダウンレギュレーションを介して GLI1 をアセチル化し不活性に保つことで発揮されると考えられる。髄芽腫 (MDB) の細胞増殖および腫瘍形成を阻害する (PubMed:21472142)。

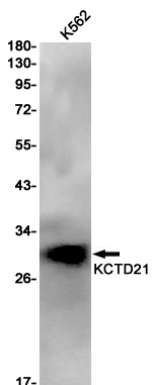
研究分野

神経科学

画像データ



KCTD21 抗体を使用したマウス脳、ラット脳溶解物中の KCTD21 のウエスタンブロット分析。



KCTD21 抗体を使用した K562 溶解物中の KCTD21 のウエスタンブロット分析。